

## 令和6年度全国学力学習状況調査結果概要

今年度も全国学力学習状況調査が実施されました。この結果は児童の学力の全てを把握するものではなく学力の特定の一部を示しているものですが、これを分析して成果と課題を明確にし、今後の学習活動や生活の改善に活かしていくことが重要であると考えています。以下に本校の調査結果の概要を示します。



### 【国語】

- ・ 本校の平均正答率は全国や奈良県の平均よりも少し低くなっています。
- ・ アンケートでは全児童が「国語の勉強は大切だ」と回答しましたが「国語が好き」と回答した児童は半数程度に留まっています。今後も基礎基本の学習を大切にしながら児童の興味関心を高める授業を工夫していきます。
- ・ 「文の中で漢字を正しく使うこと」や「主語と述語の関係を捉えること」等に特に弱い傾向が見られました。その一方で「情報の使い方に関する事項」は正答率が高い結果となりました。この項目は、急速に情報化が進展する社会において様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりする力が求められていることから、指導要領改定で追加された内容です。情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるように今後も指導を継続していきます。
- ・ タブレットを活用して文章を書くことが増えました。「予測変換の機能により漢字を選ぶことはできるが自分で書く場面になると漢字が書けない」ということが起こっているとも考えられます。今後も書く場面では、タブレット入力を書くことと実際に紙に書くことをバランスよく取り入れていくようにします。

### 【算数】

- ・ 本校の平均正答率は全国や奈良県の平均よりも少し低くなっています。
- ・ アンケートでは 97%の児童が「算数の勉強は大切だ」と回答しましたが「算数が好き」と回答した児童は半数以下に留まっています。今後も基礎基本の学習を大切にしながら分かる楽しい授業を工夫していきます。
- ・ 「文章題を読んで立式する問題」「小数の割り算」「図形(体積や円周、展開図の理解)」「速さ」に関する設問で正答率が低くなっています。
- ・ これまでも ICT 機器を活用し、楽しい授業・分かる授業の工夫に取り組んできていますが、今後も引き続き取組を進め、作業的・体験的な活動を工夫しながら理解を深める授業を展開していきます。

## 【学習状況(学習意欲・方法・環境・生活等)】

・「自分には良いところがある」に肯定的な回答をした児童は全国や県の平均よりも低くなっていて、自尊感情や自己有用感の低さが見られます。このことは全国的にも課題となっている事象です。学校生活の様々な場面で児童が自分の役割を果たし満足感や達成感を得られる機会、グループ活動の中で自他のよさを認め合いながら主体的に取り組む機会などを設け、自尊感情や自己有用感を育む取組を進めていきたいと考えます。

・「将来の目標や夢を持っている」の問いに肯定的な回答をした児童は、県や全国平均よりも少し低くなっていました。今後もキャリア教育の取組を進め、将来の夢や目標について考える機会を設けていきます。

・「先生は自分の良いところを認めてくれる」に92.5%、「授業やテストで間違えたところ、理解していないところについて分かるまで教えてくれる」に91.1%の児童が肯定的な回答をしており、どちらの項目も全国や県平均を上回っていました。

・「学校に行くのは楽しい」や「友人関係に満足している」には80～90%の児童が肯定的な回答をしました。引き続き児童の様子を見守り、多様な考えを認め合う取組や対話的に学習する取組を推進するとともに円滑な友人関係を築き楽しい学校生活を送れるよう支援していきます。

・家庭学習の時間は、平日は半数以上の児童が1時間以下で、土日は「全くしない」と回答した児童も20%程度おり、家庭学習の時間が全国や県の平均よりも短い傾向にあります。家庭と連携して家庭学習の習慣づけを行い、自主的に学習する態度を養うことを目指して取組を進めていきます。

・授業中でのICT機器活用は全国や県の平均を大きく上回っています。また「ICT機器を使うことは学習に役に立つ」と考えている児童の割合もとても高くなっていました。今後もICT機器を効果的に活用できるよう取組を進めていきます。

・「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の問いに対して多くの児童が肯定的な回答をしました。引き続き「いじめ防止基本方針」に沿って、いじめを許さない心の育成に努めていきます。

・「毎朝朝食を食べる、毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」の問いに90%前後の児童が肯定的な回答をしており、規則正しい生活習慣を身につけている児童が多いようです。

・約80%の児童が「携帯電話やコンピューターの使い方について家の人ときまりを作り、きまりを守っている」と回答しました。その一方で「きまりはない」と回答した児童もいます。引き続き、家庭に協力を仰ぐとともに情報モラル学習に取り組み、正しく安全に利用できるよう指導していきます。

